

きづがわしの水道

～安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道～



タツタタワー木津川市

平成30年度水道事業会計 決算の概要

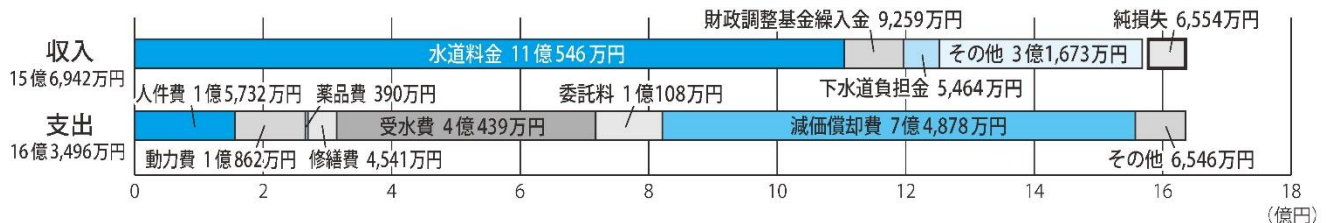
平成30年度水道事業会計の決算が9月市議会定例会で認定されましたので、その概要をお知らせします。

地方公営企業である水道事業の経理は、営業活動に関わる収益的収支と、資産の取得等に関わる資本的収支の2つに区分されます。

収益的収支については、水をつくり、ご家庭にお届けするための収支を表したものです。水道料金の収入など年度内に発生すると見込まれるすべての収益や水をつくるのに必要となる費用が含まれ、減価償却費のように現金支出を伴わない支出もあります。

資本的収支については、水道施設の整備に関わる収支を表したものです。施設整備に要する工事費や人件費、企業債の借入・償還などが含まれます。

収益的収支 水道水をつくったり、施設の維持管理のための経費 (税抜)



資本的収支 水道管の更新や施設の建設などの経費 (税込)



隔月検針を平成30年10月から導入し、行革効果として年間で約1,100万円の費用の削減を見込んでおりますが、平成30年度では、隔月検針導入初年度の影響で、一部の検針が翌年度にずれ込むため、水道料金の収入は11.5ヶ月分となり、そのため、収益的収支の収入では、水道料金は前年度より4,376万円減の11億546万円となり、下水道負担金5,464万円などを合わせ、収入合計は15億6,942万円となりました。支出では、施設の維持管理費や営業活動、減価償却費などの経費は16億3,496万円で、収益的収支の決算は赤字となりました。

次に、資本的収支の収入では、新規契約による加入金1億2,609万円のほか、一般会計出資金4,677万円など合計2億1,197万円となりました。支出では吐師受水場のテレメーター装置取替工事、水道管の布設替工事、舗装復旧工事など建設改良費で4億713万円、企業債償還金9,104万円など合計5億1,639万円となりました。開発による水道事業分担金収入1,822万円は、将来の施設更新の財源とするため、全額を財政調整基金に積み立て、年度末の基金残高は34億2,039万円となりました。

水道は、お客様からの水道料金をもとに、「独立採算性」で運営されています。安心・安全な水をお届けするには、これからも施設の整備が必要です。



<業務量>

項目	平成30年度	平成29年度	対前年度比較	
			増減	増減率
年度末給水人口	77,463人	76,378人	1,085人	1.42%
年度末給水戸数	30,577戸	29,818戸	759戸	2.55%
年間給水量	8,343,567 m ³	8,323,580 m ³	19,987 m ³	0.24%
年間有収水量	7,257,622 m ³	7,550,391 m ³	△ 292,769 m ³	△ 3.88%
給水収益	110,546万円	114,922万円	△ 4,376万円	△ 3.81%
隔月検針導入初年度の影響がなかった場合				
年間有収水量	7,577,386 m ³	7,550,391 m ³	26,995 m ³	0.36%
給水収益	115,392万円	114,922万円	470万円	0.41%
有収率	90.82%	90.71%	0.11ポイント	0.12%
給水原価	176.93円	176.11円	0.82円	0.47%
供給単価	152.28円	152.21円	0.07円	0.05%
料金回収率	86.07%	86.43%	△ 0.36ポイント	△ 0.42%

人口、給水収益は当面の間は増加しますが、将来的には減少が見込まれます。将来を見据えた経営・計画が必要です。



人口増加に伴い、給水量も増加しています。しかしながら有収水量は、隔月検針の導入初年度の影響として料金収入が0.5ヵ月分少ない11.5ヵ月分となったことにより、給水収益が減額となっています。隔月検針導入初年度の影響がなかった場合は、昨年度より有収水量が26,995 m³、給水収益が470万円増加しています。料金回収率については100%を下回っていて、給水収益だけでは水道事業に係る費用を賄っていないこととなります。給水収益の不足分を財政調整基金繰入金9,259万円で補填しています。令和元年度には財政調整基金からの赤字補填なしで損益は黒字となる見込みです。

- 給水量：配水池から各家庭等に送った（配水量）水量
- 有収水量：料金徴収の対象となった水量
- 有収率：給水量の内料金徴収の対象となった水量の割合
- 給水原価：有収水量1 m³を供給するために要した費用
- 供給単価：有収水量1 m³で得られる料金収入
- 料金回収率：給水原価に対する供給単価の割合

<企業債の状況>

	(万円)		
	平成30年度末	平成29年度末	増減
企業債残高	190,644	199,748	△ 9,104
うち旧簡水の交付税対象分 (一般会計出資金)	48,859	50,301	△ 1,442
差引(実質残高)	141,785	149,448	△ 7,663

水道施設を建設するために、財務省や地方公共団体金融機構からの借入金であり、統合した旧簡水の交付税対象分を除いた企業債の残高は平成30年度末で14億1,947万円となります。

<財政調整基金の状況>

(万円)		
平成30年度末	平成29年度末	増減
342,039	350,218	△ 8,179

水道事業会計の財政調整基金は、平成30年度末で34億2,039万円となります。将来の施設更新などに備えて、財政調整基金を温存しながら、計画的に財源を確保していきます。

財政収支計画との比較

(万円)

区分	項目	H29 決算	H30 決算	H30 計画	比較	R1 計画	R2 計画	R3 計画
収益的 収支 (税抜)	1 水道事業収益	163,130	156,942	157,525	△ 583	169,923	169,835	170,537
	1 営業収益	115,944	111,369	111,657	△ 288	115,381	115,302	115,494
	1 給水収益	114,922	110,546	110,877	△ 331	114,780	114,701	114,893
	2 その他	1,022	823	780	43	601	601	601
	2 営業外収益	47,186	45,573	45,868	△ 295	54,542	54,533	55,043
	1 受取利息	102	106	100	6	99	97	92
	2 財政調整基金繰入金	10,185	9,259	9,259	0	0	0	0
	3 下水道負担金	6,001	5,464	5,893	△ 429	6,273	6,220	6,206
	4 他会計負担金	928	889	893	△ 4	833	792	681
	5 長期前受金戻入	29,673	29,432	29,433	△ 1	47,067	47,154	47,794
	6 雑収益	297	423	290	133	270	270	270
	1 水道事業費用	162,854	163,496	163,095	401	169,431	168,168	169,332
	1 営業費用	159,448	160,180	159,874	306	166,407	165,354	166,733
	1 人件費(報酬賃金含む)	15,976	15,732	15,899	△ 167	15,995	16,106	16,217
	2 受水費	40,189	40,439	40,270	169	40,406	41,555	41,611
	3 動力費	11,652	10,862	11,129	△ 267	10,973	10,932	10,918
	4 薬品費	419	390	412	△ 22	409	406	403
5 修繕費	4,308	4,541	4,114	427	4,309	4,309	4,309	
6 材料費	133	139	141	△ 2	141	141	141	
7 委託料	9,168	10,108	9,116	992	9,208	9,112	9,112	
8 減価償却費	73,599	74,878	74,878	0	78,510	79,148	80,380	
9 その他	4,004	3,091	3,915	△ 824	6,456	3,645	3,642	
2 営業外費用	3,406	3,316	3,221	95	3,024	2,814	2,599	
1 支払利息	3,326	3,221	3,221	0	3,024	2,814	2,599	
2 雑支出	80	95	0	95	0	0	0	
当年度純利益(純損失)	276	△ 6,554	△ 5,570	△ 984	492	1,667	1,205	
資本的 収支 (税込)	1 資本的収入	45,738	19,376	13,990	5,386	19,030	20,781	23,289
	1 加入金	10,937	12,609	10,450	2,159	7,235	7,314	7,315
	2 工事負担金	2,455	2,090	1,934	156	8,288	4,006	4,006
	3 補助金	1,553	0	0	0	0	0	0
	4 企業債	19,320	0	0	0	0	0	0
	5 基金繰入金	0	0	0	0	0	7,560	10,040
	6 出資金	11,473	4,677	1,606	3,071	3,507	1,901	1,928
	1 資本的支出	78,104	49,818	58,475	△ 8,657	64,679	76,597	76,114
1 建設改良費	70,092	40,714	49,371	△ 8,657	54,937	66,651	66,074	
2 企業債償還金	8,012	9,104	9,104	0	9,742	9,946	10,040	
資本的収支差引	△ 32,366	△ 30,442	△ 44,485	14,043	△ 45,649	△ 55,816	△ 52,825	

※水道事業分担金(開発分担金)および財政調整基金積立金を除く。

平成30年度の決算と平成31年3月に策定した木津川市新水道ビジョン・経営戦略で示しています将来の財政収支計画と比較しますと、収益的収支の純損失は計画より984万円大きくなりました。資本的収支の差引は、計画より1億4,043万円好転しました。



安全で良質な水道水を安定して市民の皆様にお使いいただくため、今後も計画的かつ効率的な事業運営に努めてまいります。



吐師受水場 遠隔監視システム

平成30年度でテレメータ装置の一部を更新しました。ここで各施設の状況を遠隔監視しています。

冬のライトアップ・イルミネーション 木津川市 ヒカリ☆街道



ランドマークとして輝く
「タツタタワー 木津川市」

ネーミングライツにご協力いただいていますタツタ電線株式会社を中心となり、周辺企業等と力を合わせ、州見台・梅美台の東中央線周辺において、冬のライトアップ・イルミネーションがおこなわれています。

日時：12月9日（月）～13日（金） 18時～22時

※タツタタワーは20日（金）までライトアップ

主催：タツタ電線(株)、木津川市

共催：量子科学技術研究開発機構 関西光科学研究所、
(社福)三福福祉会 きはだの郷、(株)中村屋梅美台、
(株)フォレストモール、(株)タカゾノリーブス、
(株)平和堂ガーデンモール木津川

木津川市水道料金及び公共下水道使用料 審議会を開催しています

令和元年8月1日に、学識経験者など15名の皆様に審議会委員に就任いただきました。今後の上下水道の料金のあり方や経営基盤強化について、多角的な観点から審議していただいております。審議会の資料などは木津川市HPで閲覧していただけます。

ホーム>暮らす>

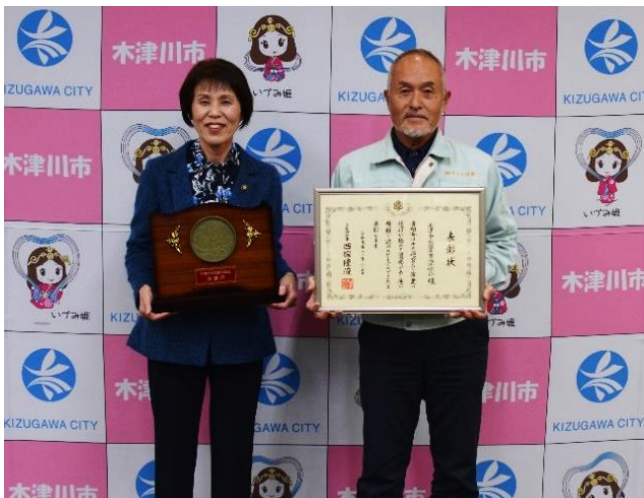
上下水道>水道からのお知らせ



市長から諮問書を受け取る新川会長

木津上下水道事業協同組合が 表彰されました

令和元年度京都府中小企業関係定例表彰において、木津上下水道事業協同組合が、優良組合として、京都府知事から表彰されました。今後益々のご活躍が期待されます。



佐々木理事長が市長に受賞報告

木津中央配水池（城址公園隣） ～城山台から西を望む～



ネーミングライツにご協力いただける
パートナー企業様をお待ちしています。

編集・発行・ネーミングライツのご相談
木津川市上下水道部水道業務課 TEL：0774-75-1250